

自転車利用促進のNPO法人 便利情報マップをオープン

グリーンペダル

都市での自転車利用の普及促進を進めるNPO法人グリーンペダル(東京・港)は、一月一日に「グリーンペダルマップ」(<http://www.greenpedal.jp/>)をオープンした。これは、サイト内に表示されたデジタルマップ上に、おすすめカフェや自転車店、危険箇所など、自転車で走る際に便利な情報を自由に登録・参照できるサービスだ。

おすすめスポットにクチコミ可能

グリーンペダルマップでは、マップ上部にある「おすすめスポットアイコン」の中から見たい情報をクリックすると、地図画面上にそのスポットがピン表示される。ピンをクリックすると写真や紹介文、そのスポットのURLやクチコミも見る事ができる。

「おすすめスポットアイコン」は、四種類。ピュースポットやランドマーク、カフェなどに加え、自転車が故障した時に駆

け込めるサイクルショップ、駐輪場、危険箇所などの情報も網羅しており、サイクリストや自転車ユーザーキリストにはうれしい内容となっている。

また、「シテツール」ボタン「おすすめルート」ボタンをクリックすると、登録された自転車通勤コースやおすすめのサイクリング・自転車散歩コースがルート表示される。距離だけでなく自動車の走行時と比較した場合のCO2削減量もわかる仕組みだ。

NPOグリーンペダルは二〇〇九年十二月に

おすすめコースやスポットをクチコミ。CO2削減量も表示

グリーンペダルマップ (<http://www.greenpedal.jp/>)



自転車乗りがおすすめスポットがピン表示され、コースはルートで示される。ユーザー登録で情報の記入が可能。
■問合せ先はグリーンペダル (03-3597-6557)。



おすすめスポットは、ピンをクリックするとスポットの詳細情報がバナー表示される

ハルシステムコンピューター <http://www.halsc.com/>



■会社概要:主にストリーミングサーバなど、ホスティングサービス事業を中心とする通信会社。2000年の開業、2001年、ブロードバンド創世記にインターネット事業に参入。ストリーミングサービスの老舗的存在。
■問合せ先:インターネット事業部
Tel: 088-655-5268 Fax: 088-655-5279
※受付時間 11:00-20:00 (日・祝を除く)

無停電電源装置完備なので、万が一の際にもサービスを継続して利用できる仕組みとなっている。柔軟対応などが特徴だ。共用ストリーミングサーバなら、初期設定費用0円。即日利用が可能。無料ストリーミング配信は1ヶ月の利用期間があり、ビジネスの妥当性、費用対効果などの検討を行ったうえで、有料プランへの移行もできる仕組みとなっている。レンタルサーバによく見られる転送量制限(情報流動課金)ではなく、データ転送量無制限。追加料金の投入も不要、コスト計画が立て易いのも特徴。クライアント(視聴者)の回線速度に応じて最適なビットレートで配信するマルチビットレート対応であるのもありがたい。

また、限定ストリーミングは、高速回線付きの一台のサーバを最大10名のユーザーで限定利用するプラン。広帯域を必要とするハイパーユーザー、ビジネスユーザーに最適。専用ストリーミング配信サービスにおいては、高機能のアクセスログ解析機能を無料で提供している。ビジネスユーザーには必須と言われる解析機能を無料で利用できるのは、他社にはない大きなアドバンテージだろう。低価格、使い勝手の良いサービスメニュー、サポート体制、動画ストリーミングビジネスへのハードルが、さらに低くなったようだ。(高岸明良)



開発する新型電気自動車のイメージデザインのボードを手に撮影に臨む清水浩シムドライブ社長(左から4人目)ら



SIM-Drive 先行開発事業第1号

「ベンチャーならではの競争を勝ち抜くうえで、産官学の協力が不可欠だ。大きな意義を期待している。参加を表明したのは、両自動車メ

ベンチャーならではの。ユニークで迅速なる電気自動車開発に期待

速三七〇キロを記録した実績がある。今回の先行車開発では、将来の量産を前提に、既存の電気自動車並みの電池を搭載した場合で三〇〇キロの航続距離、電池を除く本体価格で一五〇万円程度を目指す(清水浩・慶応義塾大学教授)と、電気自動車ベンチャーのテスラ・モーター

「ベンチャー企業ならではのリスクが小さいため、思い切って新しいコンセプトの自動車づくりに取り組めるというのだ。米国では、電気自動車ベンチャーのテスラ・モーター」

「ベンチャー企業ならではのリスクが小さいため、思い切って新しいコンセプトの自動車づくりに取り組めるというのだ。米国では、電気自動車ベンチャーのテスラ・モーター」

SIM-Drive 2013年、量産化を目指す試作車開発 三菱自やいすゞなど34社・団体が参画

慶応義塾大学の電気自動車ベンチャーのSIM-Drive(シムドライブ)、東京・千代田は一月二日、二〇一三年の量産化を目指す、プロトタイプとなる「先行開発車」を、二〇一一年三月をめどに試作すると発表した。このプロジェクトには、三菱自動車やいすゞ自動車など三十四社・団体が参加すること

「先行開発車」は、電力供給システムをはじめとしたスマートグリッドなどインフラ全体も含め、社会に大きなインパクトを与える新事業と見られる。国際的な競争を勝ち抜くうえで、産官学の協力が不可欠だ。大きな意義を期待している。参加を表明したのは、両自動車メ

「先行開発車」は、電力供給システムをはじめとしたスマートグリッドなどインフラ全体も含め、社会に大きなインパクトを与える新事業と見られる。国際的な競争を勝ち抜くうえで、産官学の協力が不可欠だ。大きな意義を期待している。参加を表明したのは、両自動車メ

簡単、即日、低コストの新ストリーミングサービス

株式会社ハルシステムコンピューター

まさな分野での利用実績を有している。サービスの特徴は、低価格、簡単導入、即日利用、柔軟対応などが特徴だ。共用ストリーミングサーバなら、初期設定費用0円。即日利用が可能。無料ストリーミング配信は1ヶ月の利用期間があり、ビジネスの妥当性、費用対効果などの検討を行ったうえで、有料プランへの移行もできる仕組みとなっている。レンタルサーバによく見られる転送量制限(情報流動課金)ではなく、データ転送量無制限。追加料金の投入も不要、コスト計画が立て易いのも特徴。クライアント(視聴者)の回線速度に応じて最適なビットレートで配信するマルチビットレート対応であるのもありがたい。

また、限定ストリーミングは、高速回線付きの一台のサーバを最大10名のユーザーで限定利用するプラン。広帯域を必要とするハイパーユーザー、ビジネスユーザーに最適。専用ストリーミング配信サービスにおいては、高機能のアクセスログ解析機能を無料で提供している。ビジネスユーザーには必須と言われる解析機能を無料で利用できるのは、他社にはない大きなアドバンテージだろう。低価格、使い勝手の良いサービスメニュー、サポート体制、動画ストリーミングビジネスへのハードルが、さらに低くなったようだ。(高岸明良)